

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	総合教養	科目名	技術者のための環境問題入門					科目コード	SL801A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	畔柳 理	履修グループ	選択					授業方法	講義	
実務経験の内容	公立中学校の教員、産業設備販売専門商社での営業、在外公館での専門調査員としての勤務経験を有している。現在、研究機関で、アフリカの産業発展に関する研究を行っている。									
学習一般目標	<p>本授業では、環境問題とはどのようなものなのかを学習します。その際、現代の情報社会と環境問題がどのように繋がっているのか、身近な例から環境問題とのつながりを辿っていきます。その上で、技術者として、環境問題の解決に貢献できる方法などについて考えていきます。</p> <p>目標①:現代社会において、どのような環境問題があるのかを理解する。 目標②:環境問題が現代の私たち一人一人と関係する問題であるということを理解する。 目標③:現代社会が直面する環境問題に対して、自分の意見を述べることができる。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>本授業では、現代社会に生きる私たちと環境問題との関わりについて学習していきます。ニュースの社会欄や国際欄の積極的な閲覧を推奨します。授業での積極的な質問や発言を歓迎します。</p>									
教科書および参考書	必要に応じて参考文献等を提示します。									
履修に必要な予備知識や技能	特になし。									
使用機器	特になし。									
使用ソフト	特になし。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2/3/4/5	現代社会において、どのような環境問題があるのかを理解する。								
	1/2/3/4/5	環境問題に興味・関心をもち、自分の専門に惹きつけて考えることができる。								
	1/2/3/4/5	現代社会が直面する環境問題に対して、自分の意見を述べることができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			30					30
		2.思考・判断			30					30
		3.態度							40	40
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲								
総合評価割合				60				40	100	
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	授業の中盤と終盤の2回、授業中に出される課題についてのレポートの作成・提出を求めます。上記1,2,3の観点から60点(30点x2回)満点で評価します。
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	15回出席した場合を40点満点として評価します。5回以上の欠席で不合格となります。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 授業内容及び成績評価の基準などについて説明する。	講義	特になし。
第2回	世界の環境問題① 現代社会における環境問題とはどのようなものなのかを理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第3回	世界の環境問題② 現代社会における環境問題とはどのようなものなのかを理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第4回	日本の環境問題① 日本がこれまでに経験してきた環境問題について振り返る。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第5回	日本の環境問題② 現代の日本が抱える環境問題がどのようなものなのかを理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第6回	情報端末とエネルギー 私たちが日々利用している情報端末と環境問題のつながりを、エネルギー利用の面から理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第7回	エネルギー利用と環境問題 エネルギーの利用が環境にどのような影響を与えるのか理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第8回	環境問題への取り組み① 環境問題の解消に向けた具体的な取り組みについて理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第9回	情報端末と資源 私たちが日々利用している情報端末と環境問題のつながりを、天然資源の利用という面から理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第10回	資源開発と環境問題 資源開発がどのように環境に影響を与えるのかを理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第11回	環境問題への取り組み② 環境問題の解消に向けた具体的な取り組みについて理解する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第12回	情報技術者と環境問題① 環境問題を食い止めるために、情報技術者にどのようなことができるのか検討する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。

第13回	情報技術者と環境問題② 環境問題を食い止めるために、情報技術者にどのようなことができるのか検討する。	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第14回	課題解決型授業①	探究課題	実施時期及び内容については別途指示する。
第15回	課題解決型授業②	探究課題	実施時期及び内容については別途指示する。